

イスラエル戦争勃発、目先は原油価格やインフレ見通しへの影響に注意

- イスラム組織ハマスがイスラエルに大規模攻撃を開始
- イスラエル戦争勃発を受け原油価格が一時急伸
- 先進国の物価動向や金融政策への影響に要注意

■ イスラム組織ハマスがイスラエルを攻撃

10月7日、イスラエルのパレスチナ人が多く居住するガザ地区を支配するイスラム組織「ハマス」が同国に対し大規模な攻撃を開始しました。同国ネタニヤフ首相は「戦争状態にある」と声明を発表、断固報復の姿勢を見せています。従来より、イスラエルとハマスの両陣営は局所的な小競り合いが続くなど緊張状態にありましたが、ハマスが同国内に侵入し軍事行動を実施するのは異例です。8日に国連安全保障理事会が非公開会合を行い対応を協議していますが、ハマスの側が同国市民や米国人を多数拘束したとの報道もあるなど事態は深刻化しています。

■ イスラエル戦争が短期で終結するか注目

背景には、世界の視線がウクライナ戦争に集中するなか、パレスチナ問題への関心低下に対する危機感が挙げられます。2020年にイスラエルがUAEやバーレーンなどのアラブ諸国と国交を回復、また2022年に復権したネタニヤフ政権が極右政党を連立に組み込み、パレスチナ人居住区の占領政策を強化するなか、足元はサウジアラビアとの国交正常化を模索する動きも見られました。

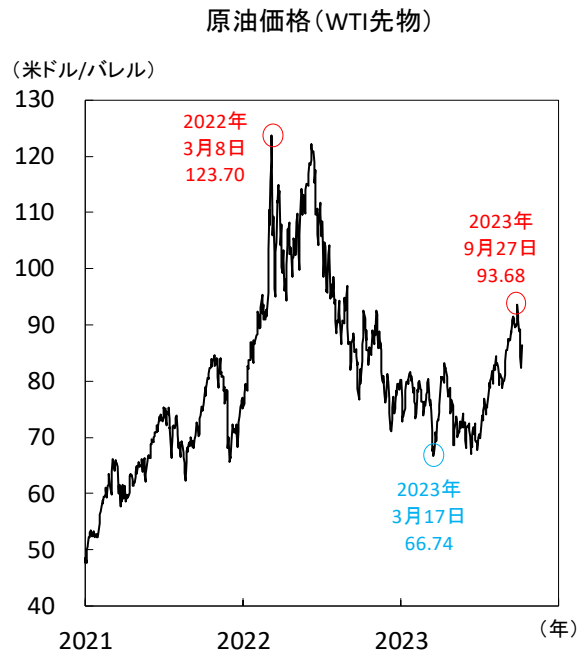
なお、イスラエルを敵視するレバノンのイスラム組織ヒズボラも同国への攻撃に参加、イスラエルはかねてからハマスやヒズボラを後方支援するとされるイランと同国の核開発問題などを巡り、長年対立関係にあるため、戦争の影響が中東地域に波及しないか注意が必要です。

■ 原油発のインフレ見通しの変化に要注意

イスラエル戦争勃発後の金融市場では、株式・債券・為替市場の反応が限定的だった一方、中東情勢不安定化リスクが意識され原油価格が反発しました(図1)。今年に入り、先進国では原油などエネルギー価格急落を主因としたインフレ沈静化が顕著でした(図2)。中東情勢緊張により原油高が長期化するリスクには警戒が必要です。

先進国のインフレ率低下は、利上げ休止観測を高め、来年の景気軟着陸期待につながっていた節があります。市場の描くインフレ収束かつ景気回復シナリオの維持に向け、同戦争の早期終結も鍵と言えます。(瀧澤)

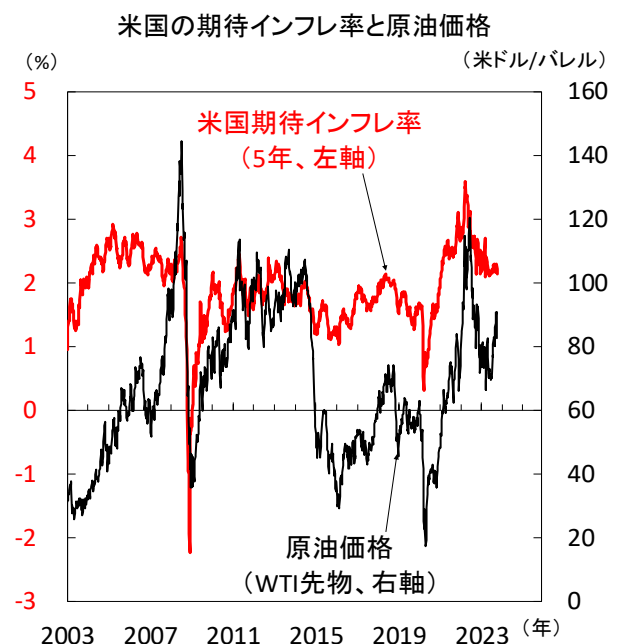
【図1】原油価格は上昇一巡もイスラエル戦争受け反発



注) 凡例は節目となった終値ベースの高安値。
直近値は2023年10月9日。

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

【図2】インフレ見通しと連動性の高い原油価格



注) 期待インフレ率はブレイクイーブンインフレ率
(=国債利回り-物価連動国債利回り)。
直近値は2023年10月6日(週次)。

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘を使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会